

高等学校 商業

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)の第3章主として専門学科において開設される各教科 第3節商業 第2款 各科目の「目標」に関する記述として、適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 「ビジネス基礎」では、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。
- 2 「財務会計Ⅰ」では、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。
- 3 「情報処理」では、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。
- 4 「ソフトウェア活用」では、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。
- 5 「ネットワーク管理」では、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。

(2) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)第3章主として専門学科において開設される各教科 第3節商業 第2款 各科目「総合実践」の「2 内容」において指導項目として示されていないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 マーケティングに関する実践
- 2 ビジネス経済に関する実践
- 3 会計に関する実践
- 4 ビジネス情報に関する実践
- 5 分野横断的・総合的な実践

(3) 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説商業編に関する記述として、適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 商業科に関する科目は、17科目で構成されている。
- 2 「分野共通の科目」としている科目は、「ビジネス基礎」、「課題研究」、「総合実践」の3科目である。
- 3 「マーケティング分野」の科目は、「マーケティング」、「商品開発」、「観光ビジネス」の3科目である。
- 4 科目の再構成、整理統合、名称変更、分離ではなく、新設された科目は「観光ビジネス」の1科目である。
- 5 「原則履修科目」は「ビジネス基礎」の1科目である。

(4) 法人の機関について、次の図の（ア）～（オ）に入る語句をあとの1～5から一つずつ選べ。

解答番号は（ア）が 、（イ）が 、（ウ）が 、（エ）が 、（オ）が 。ただし、同じ番号を二度使用してもよい。

法人の種類 \ 機関		意思決定機関	業務執行・代表機関	監査機関
一般法人	一般社団法人	（ア）	（イ）	（ウ） （任意設置機関）
	一般財団法人	（エ）	（オ）	（ウ）
営利法人 （株式会社の一例）		株主総会	取締役会・代表取締役	監査役

- 1 理事
- 2 監事
- 3 理事・理事会
- 4 評議員・評議員会
- 5 社員総会

(5) 次の法を公法、私法、公私混合法の3種類に分類した場合、公私混合法にあたるものはどれか。

次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 刑法
- 2 労働基準法
- 3 民法
- 4 刑事訴訟法
- 5 公職選挙法

(6) 次のうち、オーストリア出身の経営学者ピーター＝ドラッカーが提唱した8項目の経営目標（事業目標）にあてはまらないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 マーケティング
- 2 技術革新
- 3 コストリーダーシップ戦略
- 4 利益必要条件
- 5 社会的責任

- 2 次の資料 (a)、(b) にもとづいて、精算表を完成させ、あとのア～セの問いに答えよ。なお、会計期間は平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間である。

資料 (a)

1. 仮払金は、借入金に対する返済額4か月分であり、借入金 ¥ 600,000は平成30年12月1日に借り入れた月賦返済の借り入れで、毎月 ¥ 52,000を12か月で元利均等額を返済する契約となっている。
2. 手持ちの手形を平成30年10月1日に裏書譲渡した際に保証債務 ¥ 5,000を計上しており、決算日直前になってその手形が無事決済されたとの通知が届いたが、未処理であった。
3. 当座預金について銀行残高調整表を作成したところ、次の事実が判明した。
 - ①かねて買掛金支払いのためA商店あてに振り出した小切手 ¥ 20,000が、銀行にまだ呈示されていないかった。
 - ②得意先からの売掛金 ¥ 50,000が入金されていたが、当店への通知が未達であった。
 - ③広告料の支払いとして小切手 ¥ 100,000を作成し、振出処理を行っていたが、業者にまだ渡していないかった。

資料 (b)

1. 受取手形と売掛金の期末残高に対して2%の貸し倒れを見積もり、差額補充法によって貸倒引当金を設定する。
2. 商品の期末棚卸高は次のとおりである。なお、売上原価は「売上原価」の行で計算する。ただし、商品評価損は売上原価に算入し、棚卸減耗損は売上原価に算入しない。

帳簿棚卸高	数量	1,100個	原	価	@¥ 150
実地棚卸高	数量	1,000個	正味売却価額		@¥ 140

3. 売買目的有価証券の内訳は次のとおりであり、時価によって評価する。

	帳簿価額	時 価
A 社株式	¥ 135,000	¥ 138,000
B 社株式	¥ 297,000	¥ 284,000

4. 建物については定額法（残存価額0（ゼロ）、耐用年数20年）、備品については定率法（償却率年20%）により減価償却（間接法）を行う。
5. 社債は平成27年12月1日に、償還期限10年、年利率1.5%（利払日：5月末および11月末）、額面 ¥ 100につき ¥ 97で発行したものである。償却原価法（定額法）を適用して評価替えを行うとともに、社債利息の未払高を計上する。
6. 保険料のうち ¥ 240,000は平成30年11月1日に新たに契約し、同日に向こう1年分を支払ったものである。
7. 受取家賃は、毎年同額を12月1日に向こう1年分をまとめて受け取ることとなっており未経過分は月割計算で繰り延べる。
8. のれんは平成28年4月1日にA社を取得した際に計上したものであり、5年にわたって每期均等額ずつ償却している。
9. 消耗品の期末未使用高は、¥ 6,000である。

精 算 表

勘 定 科 目	試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	395,000							
当 座 預 金	798,000						(A)	
受 取 手 形	500,000							
売 掛 金	650,000							
売 買 目 的 有 価 証 券	432,000							
繰 越 商 品	190,000							
仮 払 金	208,000							
建 物	8,000,000							
備 品	500,000							
の れ ん	420,000							
支 払 手 形		180,000						
買 掛 金		450,000						
保 証 債 務		5,000						
借 入 金		600,000						(B)
社 債		1,954,000						(C)
貸 倒 引 当 金		10,000						
建物減価償却累計額		1,200,000						
備品減価償却累計額		180,000						
資 本 金		6,590,000						
売 上		5,250,000						
受 取 家 賃		300,000				(D)		
仕 入	3,550,000							
給 料	280,000							
広 告 料	250,000							
保 険 料	480,000							
消 耗 品 費	20,000				(E)			
雑 費	21,000							
社 債 利 息	20,000				(F)			
保 証 債 務 費 用	5,000				(G)			
	16,719,000	16,719,000						
保 証 債 務 取 崩 益								
貸 倒 引 当 金 繰 入			(H)					
売 上 原 価								
					(I)			
棚 卸 減 耗 損								
有 価 証 券 ()								
減 価 償 却 費			(J)					
消 耗 品								
() 保 険 料							(K)	
() 利 息								
() 家 賃								
() 償 却			(L)					
()				(M)				
支 払 利 息								
当期 ()								(N)

ア 精算表の（A）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 748,000
- 2 848,000
- 3 868,000
- 4 948,000
- 5 968,000

イ 精算表の（B）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 208,000
- 2 392,000
- 3 400,000
- 4 416,000
- 5 600,000

ウ 精算表の（C）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,954,000
- 2 1,960,000
- 3 1,964,000
- 4 1,970,000
- 5 1,974,000

エ 精算表の（D）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 100,000
- 2 120,000
- 3 180,000
- 4 200,000
- 5 300,000

オ 精算表の（E）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 6,000
- 2 14,000
- 3 16,000
- 4 20,000
- 5 26,000

カ 精算表の（F）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 14,000
- 2 20,000
- 3 26,000
- 4 30,000
- 5 36,000

キ 精算表の（G）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 0（空欄）
- 2 5,000
- 3 10,000
- 4 15,000
- 5 20,000

ク 精算表の（H）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 12,000
- 2 13,000
- 3 14,000
- 4 22,000
- 5 23,000

ケ 精算表の（I）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 3,575,000
- 2 3,585,000
- 3 3,590,000
- 4 3,600,000
- 5 3,610,000

コ 精算表の（J）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 400,000
- 2 404,000
- 3 440,000
- 4 464,000
- 5 500,000

サ 精算表の（K）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 100,000
- 2 120,000
- 3 140,000
- 4 160,000
- 5 180,000

シ 精算表の（L）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 84,000
- 2 105,000
- 3 140,000
- 4 210,000
- 5 280,000

ス 精算表の（M）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 10,000
- 2 50,000
- 3 100,000
- 4 150,000
- 5 200,000

セ 精算表の（N）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 155,000
- 2 175,000
- 3 215,000
- 4 255,000
- 5 275,000

- 3 A 製作所は標準原価計算を採用している。当月における次の資料にもとづいて、あとのア～キの問いに答えよ。

資 料

1. 標準原価カード

A 製品	標準原価カード		
	標準単価	標準消費数量	金額
直接材料費	¥ 1,000	10kg	¥ 10,000
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	
	¥ 2,000	2 時間	¥ 4,000
製造間接費	標準配賦率	標準直接作業時間	
	¥ 3,000	2 時間	¥ 6,000
	製品 1 個あたりの標準原価		<u>¥ 20,000</u>

2. 生産データ

月初仕掛品 10 個（加工進捗度 20%）

完 成 品 60 個

月末仕掛品 15 個（加工進捗度 80%）

3. 製造間接費予算

変動費率 ¥ 500

固定費（月額） ¥ 450,000

4. 当月製造費用実際発生額

直接材料費 ¥ 682,000 (@¥ 1,100 × 620 kg)

直接労務費 ¥ 270,000 (@¥ 1,800 × 150 時間)

製造間接費 ¥ 500,000

※ 直接材料は、製造着手のときにすべて投入されているものとする。

ア 材料消費価格差異として正しいものはどれか。1～5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ¥ 62,000（有利差異）
- 2 ¥ 62,000（不利差異）
- 3 ¥ 65,000（有利差異）
- 4 ¥ 65,000（不利差異）
- 5 ¥ 70,000（有利差異）

イ 材料消費数量差異として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ￥30,000（有利差異）
- 2 ￥30,000（不利差異）
- 3 ￥33,000（有利差異）
- 4 ￥33,000（不利差異）
- 5 ￥80,000（有利差異）

ウ 賃率差異として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ￥26,000（有利差異）
- 2 ￥28,000（不利差異）
- 3 ￥28,000（有利差異）
- 4 ￥30,000（不利差異）
- 5 ￥30,000（有利差異）

エ 作業時間差異として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ￥20,000（不利差異）
- 2 ￥36,000（有利差異）
- 3 ￥36,000（不利差異）
- 4 ￥40,000（有利差異）
- 5 ￥40,000（不利差異）

オ 予算差異として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ￥15,000 (有利差異)
- 2 ￥20,000 (不利差異)
- 3 ￥20,000 (有利差異)
- 4 ￥25,000 (不利差異)
- 5 ￥25,000 (有利差異)

カ 能率差異として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ￥25,000 (有利差異)
- 2 ￥30,000 (不利差異)
- 3 ￥30,000 (有利差異)
- 4 ￥60,000 (不利差異)
- 5 ￥60,000 (有利差異)

キ 操業度差異として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ￥75,000 (不利差異)
- 2 ￥100,000 (有利差異)
- 3 ￥100,000 (不利差異)
- 4 ￥125,000 (有利差異)
- 5 ￥125,000 (不利差異)

4 次の（１）～（６）の問いに答えよ。

- （１）あるコーヒーショップについて、第１図のような店舗別・サイズ別の売上データを読み、処理条件にしたがって第２図のような店舗別売上一覧表を表示したい。あとのア～オの問いに答えよ。なお、データにエラーはないものとする。

入力データ

店舗コード (S c o)	サイズ (S i z e)	売上数量 (S u)
×	×	× × ×

（第１図）

実行結果

(店舗別売上一覧表)					
(サイズ)	(淀屋橋)	(弁天町)	(天王寺)	(芦原橋)	(合 計)
1	123	86	109	77	395
2	75	31	69	38	213
3	26	9	30	4	69
			(総合計)		677

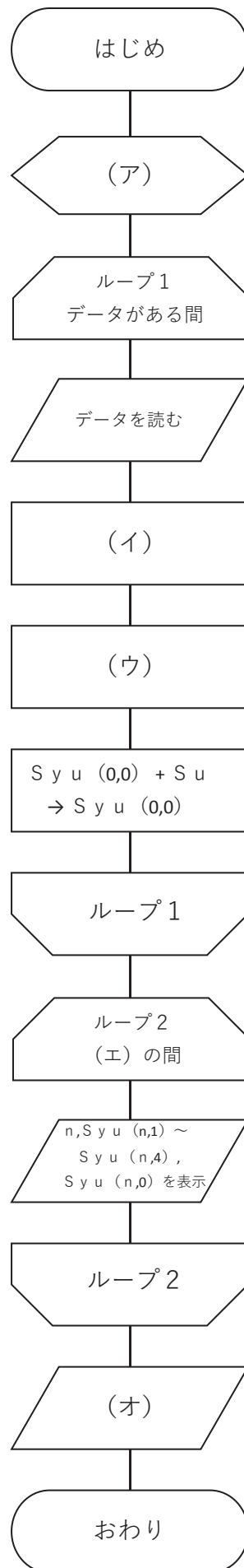
（第２図）

処理条件

- 店舗は４店舗あり、店舗コードは次の通りである。
１：淀屋橋 ２：弁天町 ３：天王寺 ４：芦原橋
- コーヒーのサイズ別に次のように番号がつけられている。
１：スモール ２：ミディアム ３：ラージ
- 店舗別・サイズ別の売上数量の合計と総合計を配列 S y u に集計したあと、店舗別売上一覧表を作成する。

配列

S y u	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	
(0)						
(1)						(スモール)
(2)						(ミディアム)
(3)						(ラージ)
	(合計)	(淀屋橋)	(弁天町)	(天王寺)	(芦原橋)	



ア 流れ図の（ア）にあてはまる記述はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 32

- 1 配列 S c o を準備し、初期化する。
- 2 配列 S i z e を準備し、初期化する。
- 3 配列 S u を準備し、初期化する。
- 4 配列 n を準備し、初期化する。
- 5 配列 S y u を準備し、初期化する。

イ 流れ図の（イ）にあてはまる記述はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 33

- 1 $S y u (S c o, n) + S u \rightarrow S y u (S c o, n)$
- 2 $S y u (S c o, n) + 1 \rightarrow S y u (S c o, n)$
- 3 $S y u (S c o, S i z e) + S u \rightarrow S y u (S c o, S i z e)$
- 4 $S y u (S i z e, S c o) + S u \rightarrow S y u (S i z e, S c o)$
- 5 $S y u (S i z e, n) + 1 \rightarrow S y u (S i z e, n)$

ウ 流れ図の（ウ）にあてはまる記述はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 34

- 1 $S y u (S c o, 0) + S u \rightarrow S y u (S c o, 0)$
- 2 $S y u (S i z e, 0) + S u \rightarrow S y u (S i z e, 0)$
- 3 $S y u (n, 0) + 1 \rightarrow S y u (n, 0)$
- 4 $S y u (S c o, 0) + 1 \rightarrow S y u (S c o, 0)$
- 5 $S y u (S i z e, 0) + 1 \rightarrow S y u (S i z e, 0)$

エ 流れ図の（エ）にあてはまる記述はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 35

- 1 $0 \rightarrow n$
- 2 n は 0 から 1 ずつ増やして $n \leq 4$
- 3 n は 1 から 1 ずつ増やして $n \leq 4$
- 4 n は 0 から 1 ずつ増やして $n < 4$
- 5 n は 1 から 1 ずつ増やして $n < 4$

オ 流れ図の（オ）にあてはまる記述はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 36

- 1 S y u (S u , 0) を表示
- 2 S y u (0 , S u) を表示
- 3 S y u (n , 0) を表示
- 4 S y u (0 , n) を表示
- 5 S y u (0 , 0) を表示

(2) 次の表のア～オを主記憶の実行アクセス時間が短い順に並べたものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 37

	キャッシュメモリ			主記憶
	有無	アクセス時間 (ナノ秒)	ヒット率 (%)	アクセス時間 (ナノ秒)
ア	なし	－	－	15
イ	なし	－	－	30
ウ	あり	20	60	70
エ	あり	20	70	50
オ	あり	10	90	80

- 1 ア→オ→エ→イ→ウ
- 2 ア→イ→エ→ウ→オ
- 3 ア→ウ→オ→エ→イ
- 4 オ→ウ→エ→イ→ア
- 5 オ→エ→ウ→イ→ア

(3) 次の8個のデータの平均値とメジアン之差を表すものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

40 45 50 55 65 70 75 80

- 1 0
- 2 5
- 3 10
- 4 15
- 5 50

(4) 図のような単方向リストから「黄」を削除するときの操作として適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。なお、次ポインタの「－」は最終データであることを示す。

解答番号は

ルート

アドレス	データ	次ポインタ
10	赤	30
20	青	40
30	黄	20
40	桃	－
50	緑	10

- 1 青の次ポインタの値を30に変更する。
- 2 黄の次ポインタの値を－に変更する。
- 3 ルートの値を30に変更する。
- 4 赤の次ポインタの値を20に変更する。
- 5 ルートの値を10に変更する。

(5) 次のうち、最も稼働率が高くなるものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

40

- 1 平均故障間隔 (MTBF) が50時間、平均修復時間 (MTTR) が3時間。
- 2 平均故障間隔 (MTBF) が100時間、平均修復時間 (MTTR) が15時間。
- 3 平均故障間隔 (MTBF) が100時間、平均修復時間 (MTTR) が20時間。
- 4 平均故障間隔 (MTBF) が200時間、平均修復時間 (MTTR) が10時間。
- 5 平均故障間隔 (MTBF) が200時間、平均修復時間 (MTTR) が20時間。

(6) 企業や組織が保有している情報全般を情報資産という。情報資産に対するリスクは、人的リスク、技術的リスク、物理的リスクの3種類に分類されるが、次のうち人的リスクの内容として適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

41

- 1 なりすまし
- 2 クロスサイトスクリプティング
- 3 スキャベンジング
- 4 クラッキング
- 5 ソーシャルエンジニアリング

- 5 次の（ア）～（コ）の取引の仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

現金	当座預金	受取手形	貸倒引当金	売掛金
売買目的有価証券	不渡手形	商品	未着商品	積送品
未収金	仮払消費税	建物	建設仮勘定	のれん
子会社株式	支払手形	買掛金	借入金	仮受消費税
前受金	保証債務	未払消費税	社債	資本金
その他資本剰余金	自己株式	新築積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
仕入	貸倒引当金繰入	貸倒損失	有価証券売却損	社債利息
保証債務費用	有価証券評価損	子会社株式評価損	売上	有価証券売却益
有価証券評価益	有価証券利息	保証債務取崩益	社債償還益	

- （ア）A商店に注文し、かねて受け取っていた船荷証券 ¥ 70,000について、本日商品が到着したので、船荷証券と引き換えに商品を受け取った。なお、引取運賃 ¥ 3,000は現金で支払った。
- （イ）B出版株式会社は、かねて予約を受け付けていた大辞典全集（15巻で1セット）のうち、第1巻から第5巻までが完成したので、予約者全員に完成分を本日送付した。なお、大辞典全集の販売価格は各巻とも ¥ 2,000であり、予約の申し込みとして200セットを受け付けていた。また、予約時に1セットあたり ¥ 30,000の代金全額を予約者全員から受け取っている。
- （ウ）かねて売買目的で購入（額面 ¥ 100につき ¥ 97で購入）していた額面 ¥ 3,000,000のC株式会社発行の社債を、平成30年11月23日に額面 ¥ 100につき ¥ 98で売却し、代金は前の利払日の翌日から売却日までの利息を含めて月末に受け取ることにした。なお、同社債の発行条件は次のとおりであり、利息は日割り計算とする。
- 償還期間：10年 利率：年4％ 利払日：6月末日と12月末日
- （エ）D商店から売掛金の代金として受け取った約束手形 ¥ 300,000を、過日、取引銀行で割り引いていたが、満期日に支払いを拒絶されたため取引銀行から償還請求を受け、小切手を振り出して支払った。当商店はすぐに拒絶証書を作成してその費用 ¥ 5,000を現金で支払い、D商店に対して手形金額とともに支払いの請求を行った。なお、手形の額面金額の1％を保証債務の時価としていた。

(オ) E 商事株式会社は、次の財政状態にある F 商会を取得し、取得代金は小切手を振り出して支払った。ただし、取得対価は F 商会の平均利益額 ￥ 500,000 を同種企業の平均利益率 8 % で還元して求める。また、F 商会に対する売掛金 ￥ 100,000 があったので相殺した。なお、F 商会の資産と負債の時価は、帳簿価額に等しいものとする。

F 商会の資産	:	受取手形	￥ 4,000,000	売掛金	￥ 3,800,000	商品	￥ 3,000,000
F 商会の負債	:	買掛金	￥ 2,900,000	借入金	￥ 2,100,000		
F 商会の資本	:	資本金	￥ 5,800,000				

(カ) 支配を目的として保有している G 商会株式会社の株式 150 株（1 株の帳簿価額 ￥ 130,000）について、同社の財政状態が著しく悪化したので、実質価額によって評価替えした。なお、同社の時価による資産総額は ￥ 25,000,000 負債総額は ￥ 14,000,000 発行済み株式数は 200 株であり、時価を把握することが極めて困難な株式である。

(キ) かねて建設を依頼していた建物 ￥ 70,000,000 が完成し、引き渡しを受けたので、この代金のうち、既に支払った ￥ 30,000,000 を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。なお、取締役会の決議により、新築積立金 ￥ 70,000,000 を取り崩した。

(ク) H 商会株式会社は、決算にあたり、商品売買取引に係る消費税の納付額を計算して確定した。なお、消費税の仮払分は ￥ 58,000、仮受分は ￥ 72,000 であり、税抜き方式で記帳している。

(ケ) 過日、I 商店に商品 ￥ 550,000（原価）を発送して販売を委託していたが、本日、次の売上計算書とともに手取額を小切手で受け取った。なお、I 商店に商品を発送した際に、運送料 ￥ 5,000 を現金で支払っている。また、売上原価はその都度仕入勘定に振り替えている。

売上計算書			
売上高			￥ 650,000
諸掛			
保管料	￥ 3,000		
雑費	￥ 10,000		
手数料	￥ 23,000	￥ 36,000	
差引手取金			<u>￥ 614,000</u>

(コ) 得意先の J 商店が倒産し、同店に対する売掛金 ￥ 600,000 が回収不能となったので、貸倒れとして処理する。なお、回収不能となった売掛金 ￥ 600,000 のうち ￥ 320,000 は前期の販売に対する売掛金であり、残額は当期の販売に対する売掛金である。また、貸倒引当金の残高は ￥ 350,000 である。

